

川崎市洪水ハザードマップ 中原区版



「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合の、洪水浸水想定区域や避難場所を示したもので

川崎市
KAWASAKI CITY

我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家防災メモを完成させましょう!!

自宅の災害リスク

● 地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

	浸水なし	0.5m未満	0.5~3.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m	10.0~20.0m
洪水浸水想定区域(多摩川水系)						
洪水浸水想定区域(鶴見川水系)						
土砂災害(特別警戒区域)						

※多摩区においては、鶴見川系による浸水は想定されていません。

避難方法

● 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう

屋内待機 立ち退き避難 垂直避難

避難場所と避難経路

● 避難方法が決まつたら、避難場所と避難経路を確認しましょう



※避難場所と避難経路はそれぞれ複数決め、必要に応じて地図に書き込みましょう

非常持出品

● 非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう

(保管場所)

みんなの約束

● 家族やご近所での約束事を記入しましょう

(家族の約束事) (ご近所での約束事)

※避難に援護が必要な方など地域で協力しましょう

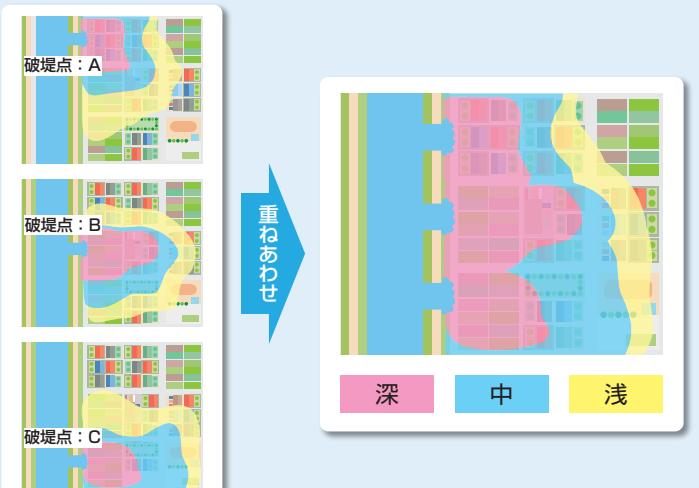
洪水から身をまもる

洪水発生のメカニズム



洪水浸水想定区域の考え方

- すべての破堤点（堤防が決壊すると想定したところ）について、どう氾濫し浸水するかを予想します。
- すべての予想結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示しています。
- 実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、徐々に深くなります。



避難に関する情報

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	災害発生又は切迫	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るために最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保（川崎市が発令） ^{*1}
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所まで移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（川崎市が発令） ^{*2}
警戒レベル3	災害のおそれあり	避難に時間要する人（高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難（川崎市が発令） ^{*3}
警戒レベル2	気象状況悪化	避難に備え、ハザードマップ等により、自分の避難行動を確認しましょう。	大雨注意報等（気象庁が発表）
警戒レベル1	今後気象状況悪化のそれ	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）

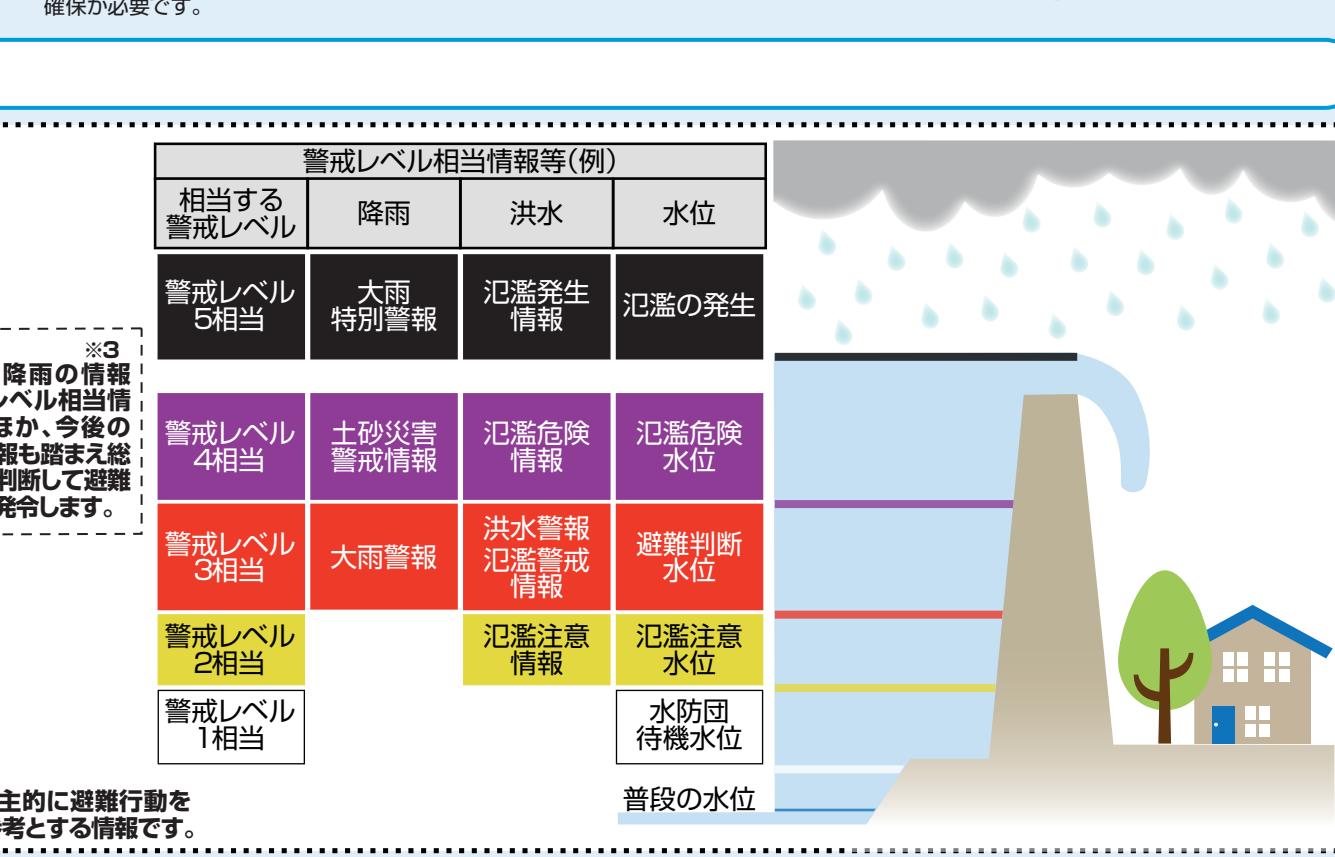
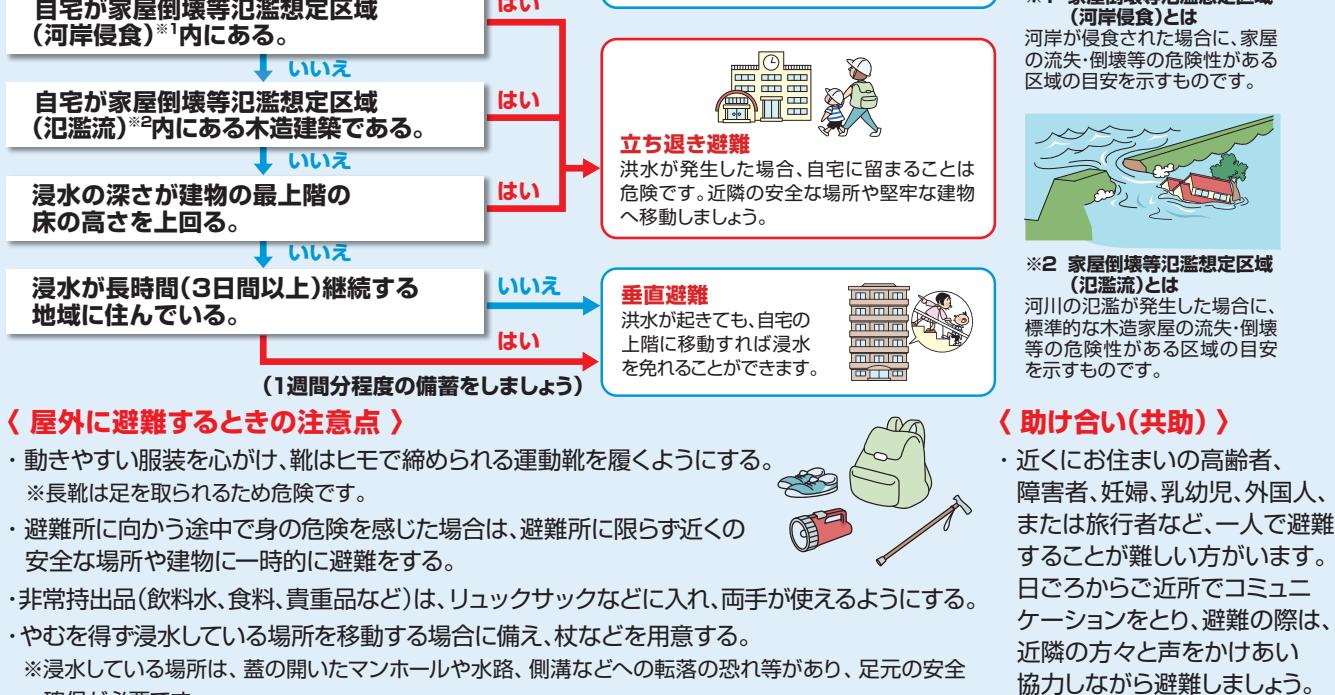
*1 災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
*2 警戒レベル5は、高齢者等よりも必要な行動を見合せ始めるため、危険を感じたら自動的に避難するタイミングです。
*3 警戒レベル（避難情報等）と警戒レベル（相当情報）（水位や降雨等の情報）が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

状況に応じた避難行動

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。
- お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討し、マイ・タイムラインを作成しておきましょう。

いええ

はい



日頃の備え

家庭備蓄の充実

- 災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。

- 飲料水：飲料水は1人1日3リットル必要です。
・ペットボトルなどで、家族全員の分、用意しておきましょう。
- 食料：お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものなるべく多く用意しておきましょう。
・普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期限が来る前に消費しながら定期的に買い足すことで、無理なく備蓄ができます。（ローリングストック）
- その他：カセットコンロ（ボンベも忘れずに）、携帯トイレ（1人1日5回分）などを用意しておきましょう。

非常持出品チェックリスト

水・食料	飲料水	携行食・非常食（ビスケット・缶詰など）
医療・衛生	いつも服用している薬	救急医療品
貴重品	現金	健康保険証・預金通帳（コピー可）
安全対策	ヘルメット・防災ずみん	厚底の靴
道具類	携帯電話・充電器	懐中電灯
衣類	上着（防寒着）	下着・靴下
生活用品	ウェットティッシュ・ティッシュ	タオル
感染症対策	体温計	アルコール消毒液

家庭などでできる浸水対策

- 側溝や雨水すきから雨水を集めています。ごみや落ち葉等が詰まるとき水が流れにくくなりますので、よく側溝や雨水すきの清掃をご協力をお願いします。
- 各家庭で早めに土のうを準備するなど事前に備えることで、浸水被害を軽減することができます。
- 「雨水流出抑制施設」は大雨の時に雨水を一時貯留して下流へ少しづつ流す重要な施設です。普段から点検・清掃をしておきましょう。

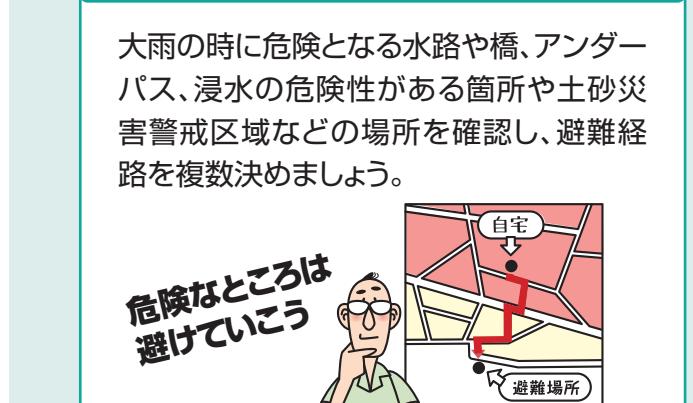


ハザードマップの使い方

① 自宅を見つけましょう



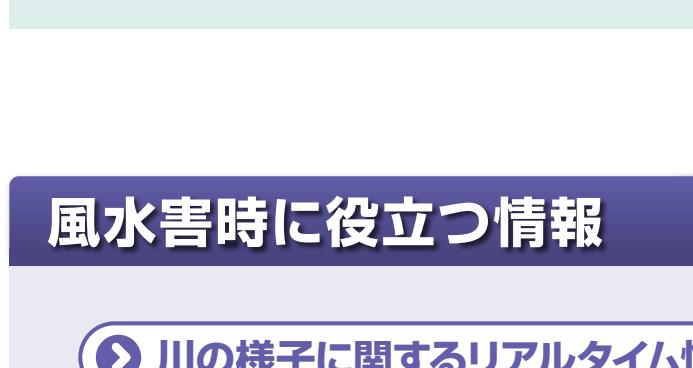
② 避難する場所を確認しましょう



③ 安全な避難経路を決めましょう

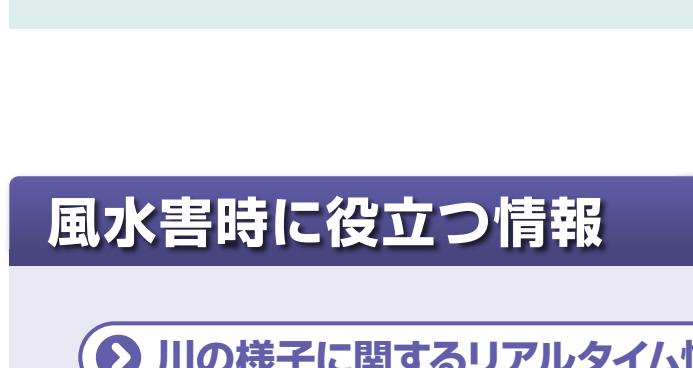


④ 実際に避難経路を歩いてみましょう



⑤ 家族で災害時の対応を話し合いましょう

⑥ 学校やご近所で考えましょう



⑦ 我が家の防災メモを完成させましょう



その他のハザードマップ

- 土砂災害、内水、津波のハザードマップもありますので、洪水ハザードマップとあわせて自宅の災害リスクを確認しましょう。

土砂災害 ハザードマップ

● 土砂災害の注意が必要な区域等

川崎市 土砂災害ハザードマップ

内水 ハザードマップ

● 内水により想定される浸水区域や浸水の深さ等

川崎市 内水ハザードマップ

津波 ハザードマップ

● 津波発生時の浸水予測区域等

川崎市 津波ハザードマップ

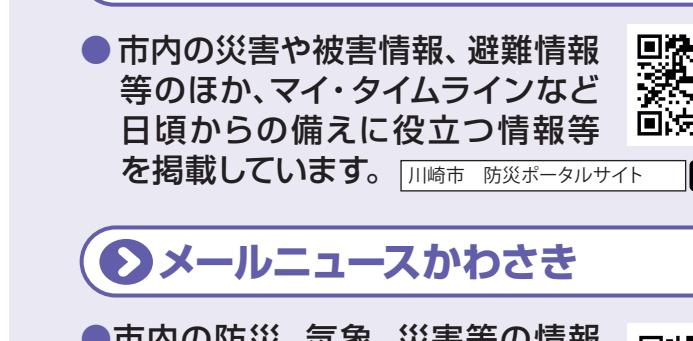
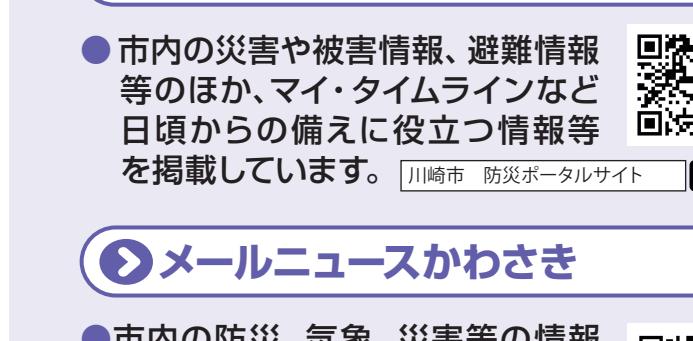
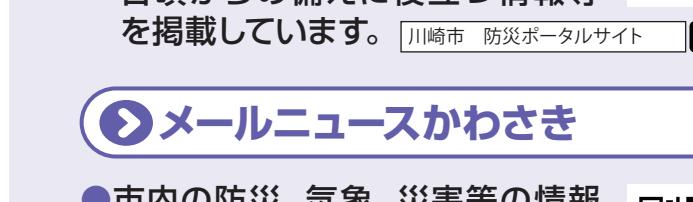
川の様子に関するリアルタイム情報

- カメラ画像や水位・雨量等の情報を国土交通省・神奈川県・川崎市等のホームページで見ることができます。



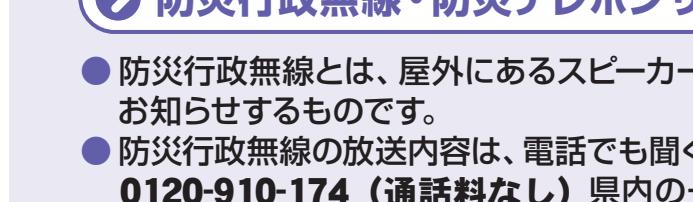
川崎市防災ポータルサイト

- 市内の災害や被害情報、避難情報等のほか、マイ・タイムラインなど日頃からの備えに役立つ情報等を掲載しています。



かわさき防災アプリ

- 災害時の緊急情報や避難情報等のほか、マイ・タイムラインなど日頃からの備えに役立つ情報等を掲載しています。



防災行政無線・防災テレホンサービス

- 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆さんに避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。

- 防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます（通常時は啓発放送が流れます）。